

“音楽美学”の追求

庄野 進さん(高18回)

美濃本小夜子(高18回) 鈴木恵美子(高25回) 米澤泰子(高25回)

略歴

東京大学文学部助手 東京大学文学部助手 玉川大学文学部芸術学科 専任講師

国立音楽大学 平成12年副学長 平成19年4月より学長に



キャンパス内の樹々が美しく紅葉している12月6日、国立音大に庄野さんを訪ねました。

同大の教授で音楽科副代表(4月より代表)の岩崎由紀子(高15回)さんも同席して下さいました。

国立音大というので、国立にあるのかと思っていたのですが、

庄野さん、最初は国立にあってたんです。附属幼稚園から高校は今でも国立にあります。

の人も国立に通っていました。 岩崎「最近江南から入学生してくる学生があまり居ないんです。ちょっと寂しいですね。」

庄野「一般的に音大を目指す人が少なくなってきたんです。今はそのうちでいいですね。」

昔は「お稽古」といえば必ずピアノだったと思うんですが、今はそうでもないですね。多様化してますね。」

岩崎「それに、ピアノはずっと継続していないとダメです。親御さんが、自分が子供の頃にやっていたから続かなかったから、子供には無理にはさせないこともあるかもしれませぬね。」

庄野「それに経済的な面もあるでしょうね。一般大学に比べて、教授の個人レッスンがあったり、授業も少人数で授業料が高くなり、

楽器代もかかりますからね。」 岩崎「学科の中で一番お金がかかるのが声楽です。私がお金がかかるから、

「それはいいですね。私の同期、それはいいですね。」

いんですか? 食べたい為の、皆さん、声楽の方はよく食べますよね(笑)。」

岩崎「そう、体が大事ですから!」

入学試験の時など思うんですが、体がしっかりしている人は声もはっきりしているんですね。あつこの人鍛えたら良くなるだろうななんてね。それに歌っているうちには体も強くなってくるんですね。」

庄野「国立は声楽でもって入学したての頃は2時間の通学の途中で貧血を起してた学生が、4年になる頃はすっかり遅くなるようですよ。」

岩崎「日本を代表して活動しているような、主役をやる人とか、コンクールで上位をとる人とかは、ほとんど国立の卒業生ですから。例えば、皆さんよく御存知の錦織健、佐藤しのぶ、山下洋輔(ジャズピアノ)など皆そうですよ。山下さんは現在本校の客員教授でもあります。あつ、それから、今話題の『千の風になって』を歌っている秋川雅史さんもそうですね。」



紅葉の美しい静かな佇まいのキャンパスで

「それはいいですね。庄野「今年の日本音楽コンクールで、本校の金管を卒業し、その後フランスで

声楽を学んだ人が優勝しましたね。」

岩崎「国立は大らかなので、卒業後に伸びるんじゃないかしらね。」

庄野「入学式後の2週間、新入生が30人位のクラスに分かれ、先生方も7~8人ずつそれぞれクラスに所属し、先生達のレクチャーコンサートや体験談を聞いたり、図書館やメディアセンター等の学内の施設がすぐに使えるように体験したり、あるいはディスカッションをしてレポートにまとめるなどといった活動をしているんですが、先生と学生との距離が近くなり、話し易く

良い関係になっています。2週間の間に生徒達は国音生になっていくんです。」

岩崎「庄野先生のアイデアで始まったんですよ。以前は先生と分かっていたものが、挨拶したり話しかけてきたりするようになりましたね。」

カリキュラムも新しくなり、生徒達が積極的に勉強する姿勢が強くなってきています。」

「ところで、音楽美学とは? 庄野「芸術とかを哲学的に考える学問でしょうか。美しいとはどういうことかとかを議論するところから始まるんですが、芸術的な価値とはどういうことか等を、音楽についても考えるんです。」

ただ、今の多文化社会の中で多様なのではないかなと思います。」

美しいというのほかなり主観的なのではと思うのですが、

庄野「ええそうですね。でも、主観的なだけだと普通だとして欲しいという考え方も、美的な価値の在り方。」

哲学的カントの考え方に通じるんですけどね。」

岩崎「音楽美学を専攻するきっかけは?」

庄野「長兄(高6回)の友人で前田昭雄さんという方が、

私が中学の頃、我が家によく遊びに来ましたが、シューマンの研究では世界的に有名で、72才という高齢ながら、現在ウイン大学と大阪芸大の教授で、本校の招聘教授でもあられます。彼が当時東大で音楽美学を学んでいたんで、そういう学問領域があり、学べることを知っていましたので、

か? 庄野「小さい時はバイオリンをやりました。中学、高校ではブラバンでフルート

の仲間何人か、室内楽アンサンブルをやったりしていました。」

僕はバイオリンで、音楽の内藤先生が演奏曲の編曲をしてくれました。」

僕は現代音楽に興味がありましたから、先生と話が合い、昼休みからそのまま5時間目に入りました。大学に入ってからも、音楽分析に必要なことから「和声学」を教えていただきました。」

江南では一番印象に残る先生ですね。」

最後に母校の後輩に伝えたいことは? 庄野「本でも、映画でも、音楽でも、コンピュータでも何でも、手当たり次第に色々な物事にぶつかって、少しでも自分が好きなものが見つかったらそれのめり込んでみて下さい。徹底的に、そして考えてみて下さい。」

その領域と一生付き合っていくことができるかどうか。もしできると思うなら、そこから道が拓けるでしょう。他人がどう言おうと、それはあなたにとって価値ある領域ですから。」

4月からは学長として更に責任が重くなることと思いますが、お体に気をつけて下さいませ。活動下さい。本日はお忙しい中を本当に有り難うございました。*****

副学長室にて

「税に関する作文」に入选

国税庁の募集した、「税に関する作文」で、一年生の石塚清乃さんの「税金と私達の暮らし」が、最優秀賞にあたる国税庁長官賞(12編)を受賞しました。同時に、「一年生の岩崎花連さん」の「税の見方をちょっとだけ変えてみる」が東京国税局長賞(5編)に選ばれました。

石塚さんは、税と福祉のかかわりから、豊かな暮らしを支える税のさまざまな仕組みについて調べて意見を述べました。

岩崎さんは、「環境に配慮した新たな税の導入について、税の無駄遣いをなくすための「情報公開」と「市民の税に対する意義改革」がポイントであること」を指摘しました。

この企画は、税の仕組みや目的を知ってもらうために行われています。今年度は1360校から14万1700編が寄せられました。本校では253人が応募しました。

江南ウォーターボーイズ

9月8日、本校プールでシンクロナイズド水泳大会が開かれた。4代目ウォーターボーイズのスピード感あふれる華麗な演技に大歓声があがった。日焼けした顔から仲間で作上げる楽しさ、達成感が伝わった。



現役生の活躍

課外活動が盛んな母校。みんながんばりました。 閉基部の3人(小林さん、浅利さん、小佐野さん)が第30回文部科学大臣杯全国高等学校団体戦で4位に入賞しました。 物理部無敵班、競技かるた部、放送委員会も全国大会に出場しました。詳しくは江南高校ホームページをご覧ください。

石塚さん(右) 岩崎さん



全員で作った人文字。南側は歩道の工事中。

Building Administration (有)国土エンジニアリング 代表取締役 中村規知雄(和永)(高19回) 〒259-1314 桑野市若松町4-9 TEL. 0463-87-5941

株式会社 大村総業 〒254-0032 平塚市八千代町6-3 TEL.0463-21-0660 FAX.0463-23-7816 大村哲夫(高19回)

医療法人社団 杉山会 杉山医院 胃腸科・内科・肛門科 理事長 杉山博明(高19回) 平塚市八重咲町25-8 TEL/FAX 0463-23-8888

“手作りの味を大切に” SHONAN CREATIVE IMAGE GATEAUX 本 社 平塚市八重咲町12-28 TEL. 0463-22-1102 声 川 浩(高18回)

同窓会開作の言其に注意! 記載した通知が出されています。 振込みの際には確認するように、お気を付け下さい。